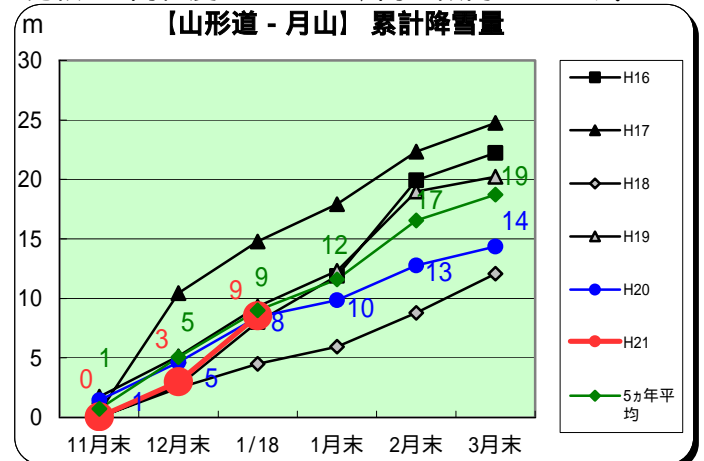
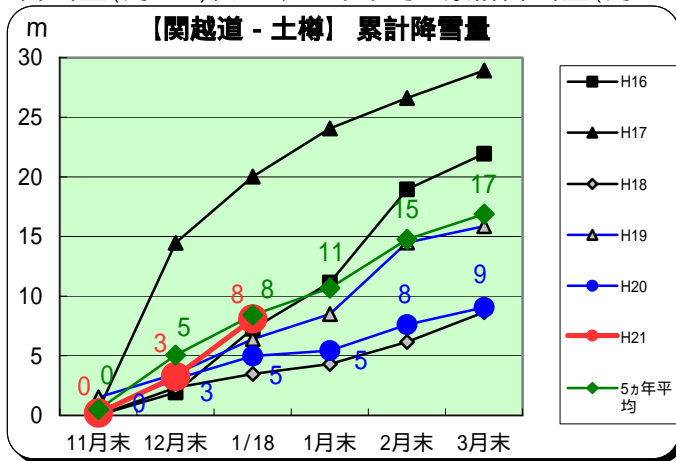


降雪の影響について

1. 降雪量

平成21年11月1日から平成22年1月18日までの累計降雪量は、関越道の土樽(新潟県)で約8mあり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約5m)と比較して約160%、過去5ヵ年平均(H16~H20)の同時期の累計降雪量(約8m)と同程度となっております。山形道の月山(山形県)では約9mあり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約8m)、過去5ヵ年平均の累計降雪量(約9m)と比較して同程度となっており、同一傾向にあります。



2. 降雪の影響による通行止実施状況

降雪の影響による通行止量()は、上記同時期の間で、約59,000km・hとなり、昨シーズンの同時期の通行止量(約38,200km・h)と比較して約150%となっており、過去5ヵ年平均(H16~H20)の通行止量(約62,600km・h)と同程度となっております。

通行止量

通行止を実施した区間距離に通行止時間を乗じた通行止の絶対量を表す指標。

$$\text{通行止量 (km} \cdot \text{h)} = \text{通行止区間距離 (km)} \times \text{通行止延べ時間 (h)}$$

通行止量による対比<速報値>

